

平成 28 年度 第 2 回公民館運営審議会 議事録

日時 平成 29 年 2 月 15 日(水) 午前 10 時～

場所 柏原市立公民館 2 階 多目的室

出席者 公民館運営審議会委員

山田勝久(会長)・浦野かをる(副会長)・岸野友美子・熊田喜代美・倉橋資子・
坂下朋子・辻野恭子・松永栄三・山下亜緯子
(委員は氏名 50 音順 敬称略)

事務局

尾野晋一(教育部長)・石垣好啓(教育部次長兼社会教育課長)・

酒谷敬三郎(公民館長)、川崎一彦(公民館長補佐)、田中義孝(公民館主査)

案件

①平成 28 年度事業報告について

(1)公民館講座の開催状況について

(2)貸館状況について

(3)第 29 回柏原市民文化祭の開催状況について

②平成 29 年度事業計画(案)について

③その他

酒谷公民館長の開会の辞

尾野教育部長の挨拶

山田会長を審議会の議長として選出し、開会の挨拶。

議長：それでは、議事を進行させていただきます。まず、案件①平成 28 年度事業報告(1)公民館講座の開催についての説明をお願いいたします。

事務局：案件①公民館講座開催状況についてご説明させていただきます。

はじめに、①公民館講座(春期・秋期)についてご説明いたします。公民館講座は、春期・秋期とも、開催回数は 12 回で開催しております。まず春期講座ですが、1 番、「暮らしの中の書講座」は定員 20 名、申込者は 21 名、池田大常先生でした。2 番、「初歩からの俳句講座」は、定員 15 名、申込者は 12 名、藤本公子先生でした。3 番、「みんなでパッチワーク講座」は、定員 20 名、申込者は 13 名、中村円香先生でした。4 番、「楽しい陶芸講座」は定員 20 名、申込者は 13 名、植田黄濤先生

でした。5番、「油絵入門講座」は定員20名、申込者13名、小西勝先生でした。春期講座は以上5講座を開催しました。

次に、秋期講座ですが、1番、「つるで編むお気に入りのかご講座」は、定員20名、申込者13名、中西昌子先生でした。2番、「ペン習字講座」は、定員20名、申込者26名、藤村素美先生でした。3番、「初歩からの茶道講座」は、定員15名、申込者21名、河南宗恵先生でした。4番、「水墨画入門講座」は定員15名、申込者10名、九鬼南梨先生でした。5番、「楽しい押し絵講座」は定員20名で募集しましたが、申込者2名で少数のため、中止になりました。秋期講座は、以上4講座です。

続いて、②柏原市立公民館教養・基礎講座についてご説明します。まず教養講座ですが、全部で6講座、定員は全講座30名で募集しました。回数に関しましては、1番～5番は5回、6番は3回です。

それでは1番、「日本古典文学と仏教」は、申込者数34名、大阪教育大学教授の小野恭靖先生にお願いしました。2番、「流沙の都“シルクロード”の文学」は、申込者数25名、大阪教育大学名誉教授の山田勝久先生にお願いしました。3番、「芭蕉と蕪村の世界」は、申込者数24名、関西大学教授の藤田真一先生にお願いしました。4番、「古代日本と大陸文学」は、申込者数28名、大阪教育大学名誉教授の山田勝久先生にお願いしました。5番、「日本古典文学と仏教Ⅱ」、申込者32名、大阪教育大学教授の小野恭靖先生にお願いしました。6番、「源氏物語」を彩る女君たち」は現在募集中です。古典文学研究家の辻孝子先生にお願いをする予定です。

続きまして、語学講座です。1番、「初歩のフランス語講座」は、定員15名で募集しましたが、申込者が7名で中止となりました。2番、「英会話基礎講座」は、定員25名、申込者数24名、大阪教育大学教授の加賀田哲也先生にお願いしました。3番、「初歩からのドイツ語講座」は、定員20名、申込者14名、大阪教育大学教授の赤木登代先生にお願いしました。語学講座は以上2講座を開講しました。

次は、短期講座です。1番、「こころを詠う絵てがみ講座」は、定員20名、申込者数22名で、久保和美先生に10回の講座でお願いをしました。2番、「やさしい囲碁入門講座」は定員20名で募集をしましたが、申し込み者が6名と少数のため、中止となりました。3番、「ゆかた着付一日講座」は、7月2日・3日の2日の講座で、7月2日の土曜日は13名の募集があり、3日の日曜日は申込者が5名、少数のため中止をいたしました。小西香先生にお願いをしました。4番、「やさしい生け花講座」は定員15名、申込者10名、間宮豊央先生にお願いをしました。5番、

「楽しいお菓子作り講座」は、定員 15 名、申込者 10 名、井藤由紀子先生にお願いをしました。6 番、「パーソナルカラー講座」は、こちらは 2 日間の講座で、各 12 名で募集しました。朝の部は申込者数 15 名、昼の部は 14 名で、西尾知子先生にお願いをしました。7 番、「きもの着付講座」は、定員 16 名、申込者数 19 名、小西香先生にお願いをしました。8 番、「初心者向きやさしい樹脂粘土講座」は、定員 20 名、申込者 12 名、向山恭子先生にお願いをしました。9 番～11 番については、パソコンの講座で、4 日間の連続講座です。各 15 名で募集しました。まずは、「パソコン入門講座」ですが、朝の部申込者 10 名、昼の部も 10 名で、山本広幸先生と補助員 1 名にお願いしました。10 番、「ワード初級講座」は、申込者朝の部 11 名、 昼の部 10 名で、山本広幸先生と補助員 1 名にお願いしました。11 番、「エクセル初級講座」は、申込者朝の部 17 名、昼の部 15 名、こちらも山本広幸先生と補助員 1 名にお願いしました。短期講座については、11 講座中 10 講座を開講いたしました。平成 28 年度公民館全開催講座は、27 講座を開講しました。参考資料として、パンフレット・チラシ等を配布しております。前半の開催分は、前回は配布いたしましたので、後半分を配布しております。

議長：ありがとうございました。それでは、ご質問がございましたら、よろしくお願ひします。

それでは、ご質問はございませんようですので、もしございましたら、その他の案件でお受けいたします。

それでは、案件①(2) 貸館状況について、事務局よりご説明をお願いします。

事務局：ご説明させていただきます。本日の資料の 3 頁をご覧ください。3 頁の表につきましては、各年度の 1 月末現在、10 か月分の延べ利用件数と利用者数を表しています。

それでは、28 年度の各施設の利用件数と利用者数及び、前年度との比較数を述べさせていただきます。

まず、本館からご説明いたします。2 階の講座室は、260 件、5,122 名で、前年度と比較し、65 件、69 名の減でした。実習室は、308 件、6,668 名で、前年度と比較して、20 件の減、229 名の増でした。調理室は、67 件、1,388 名で、前年度と比較して、10 件、930 名の減でした。和室は、97 件、2,138 名で、前年度と比較して、4 件、794 名の増でした。多目的室は、227 件、6,979 名で、前年度と比較して、30 件

の減、1,409名の増でした。

続きまして、3階の展示室は、199件、8,194名で、前年度と比較して、4件、2,270名の減でした。会議室は、52件、4,462名で、前年度と比較して、21件、3,589名の減でした。講堂は、67件、13,090名で、前年度と比較して、6件、4,363名の減でした。合計、1,277件、48,041名でした。また、前年度と比較して、152件、8,789名の減でした。

なお、平成28年度の本館の利用者数が27年度と比較して減となった主な原因ですが、1点目は、公民館に所属する団体の方々の高齢化に伴う会員数の減、そして2点目は、本年度の市民文化祭が長期となった為、準備等などで10月の貸館をしなかったことなどが考えられます。

特に、3階の利用件数と利用者数の減となった理由ですが、1点目に、展示会等の催しを行う際に、講堂で行う時は、隣の会議室を控室として使用されること、また展示室と会議室で行う際は、それらを仕切るパーティションを取り除いて1つの部屋として利用されることが挙げられ、2点目には、平成26年度末にアスベストの工事を行った影響で開催出来なかった展示会が27年度にずれ込んだこと、そして3点目には、27年度のみ開催された展示会があったこと、これらの原因が総合的に重なって全体で減となったと考えております。

続きまして、堅下分館でございます。まず、1階IT教室は、180件、1,193名で、前年度と比較し、109件の増、29名の減でした。1階学習室は、90件、683名で、前年度と比較し、7件、165名の減でした。1階会議室は、89件、1,140名で、80件の減、33名の増でした。2階会議室は、321件、4,034人で、前年度と比較して、22件、15名の増でした。2階の和室は、90件、575人で、前年度と比較して、21件、133名の増でした。2階小会議室は、126件、802名で、前年度と比較して、15件、155名の減でした。3階学習室は、147件、1,325名で、前年度と比較して、10件、225名の減でした。3階多目的ホールは、521件、9,099名で、前年度と比較して、9件、430名の減でした。堅下分館の合計は1,564件、18,851名でした。前年度と比較して、31件の増、823名の減でした。堅下分館の減になった原因ですが、主に年間の登録の団体数が減になったのが原因であろうかと考えております。

続きまして、国分分館ですが、2階中会議室は、238件、2,521名で、前年度と比較して5件の増、111名の減でした。2階小会議室は、279件、2,310名で、前年度と比較して、25件の減、13名の増でした。2階和室は、140件、888名で、前年度と比較して、51件、322名の減でした。2階調理室は、30件、411名で、前年度と比較して、15件、

287名の増でした。3階大会議室は、182件、3,737名で、前年度と比較して、19件、295名の増でした。合計869件、9,867名でした。前年度と比較して、37件の減、162人の増でした。国分分館の若干の増でございますが、28年度に新規団体が2団体増えたことが1つの原因だろうかと考えております。最後に、3施設を合わせた合計は、3,710件、76,759名でした。前年度と比較して、158件、9,450名の減でした。以上で貸館業務についてご説明させていただきました。

議長：ありがとうございました。ただいま事務局から説明のあった(2)貸館について、委員の方でご質問があればお願いいたします。

委員：堅下分館に関連することについてご質問します。今の時点では未定というのを前提でお話させていただくのですが、市民交流ひろばは、閉館になりますか？そちらで利用されていた団体は、堅下分館へ戻ってこられていますか？

事務局：市民交流ひろばは、29年度まで契約があると聞いています。その気配を聞かれて、最近、問合せは3件ありました。

委員：堅下分館へ既に戻って来られている団体は無い訳ですね？

事務局：申請は1件ありました。また、問い合わせも1件ありまして、社交ダンスの団体でした。音の出る団体だと、堅下分館は3階多目的ホールに希望が集中するかと考えております。
その他問合せ等、現時点ではありません。

委員：市民交流ひろばから公民館へ移動する団体が出てくるのは、今年から来年にかけてということですね？

事務局：29年度までと決まっていますから。活動をしていく場所が無いという話になると、公民館になると予測しております。

委員：市民交流ひろばを利用する団体が戻って来ると、堅下分館の件数や利用者数の減は、ある程度解決出来ると思います。堅下分館へ移る動きがあるのは、今年度からと考えてよろしいですか？

事務局：来年度、29年度からだと考えています。28年度は無いです。

委員：来年度以降ですね？

事務局：はい、29年度、30年度に影響が出てくると思っております

本日の資料の3頁の表を見ると、例えば、本館の3階の減が目立ちますが、講堂を使用される場合は、会議室を控室に使用されますので、人数的に連動しているのが1つの要因で、それほど大きな展示会をしない場合は、講堂ではなく、展示室や会議室を利用されるなどが減少になった、マイナスの要因と私どもは分析しております。そして、昨年度同様、高齢化で、クラブ等の指導者も高齢になり、公民館までの交通手段が無いという理由で、クラブを解散される団体が年ごとに2～3団体出てきていて、そちらが自然減の要因になっているかと考えます。このことを差し引いて、市民交流ひろばから戻って来る団体も融合出来たら、現場としてはありがたい話だと思っております。

委員：先程、講座についての説明がありましたが、講座を受講して、その後クラブに入会したいという方が増えれば、利用件数や利用者数が減っている問題は解決するのではないかと考えます。多く講座を受け持っている先生方がおられますので、先生方が、講座からクラブへ入会という、ステップアップをしていただければありがたいと思います。

事務局：公民館講座は、日頃よりやって見たかった趣味などの講座を初めて体験し初歩の基礎づくりをするというのが目的で開催しており、その後受講者がツーステップしていくことを希望された場合、講座の先生が初めての先生であって、10回程度の講座の開催で、気心は知れて、その先生のもとで続けていきたいということであれば、それら講座に関連するクラブは公民館で行われていますので、行われているクラブへ入会の方向で進めているのが現状でございます。公民館からクラブへの参加を斡旋というのは、立場上、出来ませんが、やはりひとつの生涯学習として、以前から、学習したかったが、時間やきっかけがなく、生活が落ち着いた、という人が足を運んでいただいているのが現在です。現在は、利用団体、クラブに薦めていただいているのが現状ですので、成果が出てきているのかなと思いつつも、やはり実際高齢

ということで、公民館まで来られないという方もおられまして、差し引き、±0というのが現状のクラブさんもありますし、目減りしているところもあるのが現状です。高齢化の波、という言い方が正しいか分かりませんが、こういう施設は、中高齢の方が多いですね。若い方に入っていただくのが一番とは思いますが。何分このご時世ですので、みなさんお忙しくて、なかなか足を運んでもらえるという機会が少ないと私どもとしては見受けられますが。

議長：ありがとうございました。その他、質問はございますか？

委員：疑問というか、教えていただきたいのですが、講座やクラブに来られる方で、近隣の方は歩いて来られると思うのですが、国分地区の方できらめき号に乗ってこられる方はいらっしゃいますか？

事務局：若干おられますね。時間帯に合えばよろしいのですが、ゼロではないと思います。車に乗り合せて来られる方もおられます。国分地区の方は、国分分館がありますので、そちらを利用されていると思います。音の出るクラブは、堅下分館を利用され、堅下分館は、駅が近いので電車を使われる方もいらっしゃいますね。本館も立地条件がいいので、電車で来る方もおられますね。

委員：国分地区の方々は、国分分館で賄えているということですね？

事務局：そうですね。国分分館が本館の利用より多いときもございますし。国分分館は少人数クラブが多く利用しています。

委員：ちょっと思いましたが、きらめき号の時間と講座やクラブの時間がずれていることで、利用者が減っているということでしたら、講座ならば、講座時間の見直しも必要かと思います。

委員：開講時間は10時からが多いので、それに合わせるバスの時間を考えてもいいですね。帰りも、15時しかないのです。きらめき号のバスの時間の見直しが出来たらいいですね。

事務局：きらめき号の趣旨は、公共施設を均等にまわっていくということですので、時間がかかるのはご理解いただきたいと思います。講座の時間

を合わせて、というのは難しいですね。4 台しかバスはございません。きらめき号の運行の見直しがあれば、検討したいと思います。いまの現状では難しいですね。

議長：その他ございますか。それでは事業報告の最後の、(3)第 29 回柏原市民文化祭の開催状況について内容説明をお願いします。

事務局：それでは、第 29 回柏原市民文化祭の開催状況について、ご説明申し上げます。お手元の配布資料の 4 ページ並びに添付しております文化祭のチラシ等をご参照ください。市民文化祭につきましては、例年柏原市文化連盟の方々を中心とした実行委員会を立ち上げまして、詳細な内容を決めさせていただいておりますが、平成 28 年度は前回の反省会でのご意見等を踏まえまして、文化連盟さまと協議した結果、こちらに別添しておりますチラシのとおり日程で開催した次第でございます。

主な変更点でございますが、まず文化センターで開催します展示部門につきまして、3 週にわたる土日で開催しました。前回までは 3 日連続で開催される展示もございましたが、生花や盆栽は日数的に厳しいというご指摘がございました。また、1 日で作品の撤去等、展示の準備が慌ただしいのではないかとというご指摘もございましたので、改善したものでございます。一方、発表部門につきましては、式典前のオープニングを省略しまして、出来るだけ有効的な時間を使っていたくということで、前日のリハーサルを無くして、音楽まつり、芸能まつりを開催いたしまして、定刻通り無事終了したものでございます。

以上の結果、別紙のとおり開催実績となったものでございます。

それでは、各行事のことについてご説明いたします。文化祭の式典、10 月 15 日の土曜日リビエールホールの大ホールで行いました。平成 28 年度につきましては、1,075 人、前年度比較で 23 名の増でした。文芸まつりは、こちらは市民短歌会と俳句会、選句会でございますが、10 月 8 日（土）堅下合同会館で行いました。53 名の出席で 2 名の増でございました。手工芸・生活文化展は、手工芸・山野草盆栽・消費生活研究会等の展示でございますが、10 月 15 日土曜日から 16 日の日曜日、市民文化センターで行いました。2,795 名の参加で、前年度比 52 名の増でございました。書道生花展は、書道・生け花・ペン習字の展示でございます。10 月 22 日（土）から 23 日（日）こちら市民文化センターで行いました。1,712 名、前年度比 542 名の減でございました。美術展は、写真・陶芸・絵画の展示でございます。10 月 29 日（土）

から 30 日（日）こちら市民文化センターで行われまして、2,943 名、前年度比 1,060 名の増でした。国分婦人文化展は、10 月 8 日（土）国分合同会館行いまして、144 名、5 名の減でした。歌謡まつりは、こちらは市民のカラオケ大会でございますが、10 月 9 日（日）リビエールホールの小ホールで開催しました。540 名で前年度比 8 名の増でした。謡曲まつり、10 月 10 日（月祝）文化センターの 3 階講堂で行いました。67 名の参加で前年度比 20 名の増でした。音楽まつり、10 月 15 日（土）、リビエールホール大ホールで式典の後、行いました。1,429 名の参加で、前年度比 24 名の減でした。芸能まつりは、10 月 16 日（日）リビエールホール大ホールで行いました。2,097 名の参加で、前年度比 148 名の減でした。市民囲碁大会は、10 月 16 日（日）こちら市民文化センター 2 階和室で行いました。53 名の参加で、前年度比 4 名の増でした。市民史跡めぐりは、10 月 29 日（土）こちらは、柏原駅西ロータリー集合で、業平道、石神社、鳥坂寺跡、最後に歴史資料館まで歩きまして、市の文化財課の学芸員の解説で市内の史跡をめぐりました。45 名の参加で前年度比、5 名の減でした。あと、茶席でございます。10 月 15 日（土）リビエールホール 2 階ロビーで行いまして、330 名の参加で、前年度比 38 名の減でした。また、軽食・喫茶ということで、10 月 15 日（土）22 日（土）29 日（土）の 3 日間、こちらは、文化センターの調理室および 2 階実習室で行いました。615 名の参加で、前年度比 27 名の増でした。市民文化祭の総合計、来館数ですが、13,898 名、前年度比 434 名の増でした。なお、文化祭の展示部門につきまして、手工芸は、10 月 16 日（日）、書道は、10 月 22 日（土）23 日（日）、水墨画は、10 月 29 日（土）に入場者を対象にしました体験コーナーを新たに設け、参加していただき、延べ約 230 名の参加がありまして、大変好評でございました。内容につきましては、文化祭のパンフレットに同封しているピンク色の紙に記載がございまして、3 部門の先生方に協力していただき、新しくやっただきました。

本年度も、引き続き、土曜日曜を中心とした文化祭を開催いたしまして、より多くの市民が参加できるよう、創意工夫をしまして、実施して参りたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。以上で今年度の文化祭についての説明を終わります。

議長： ありがとうございます。事務局から説明のありました、市民文化祭の開催状況の案件について、ご質問があればお願いします。

無いようですので、次に移ります。公民館と市民文化祭実行委員会

のみなさまとも意見を交わされて、平成 28 年度でも新しい企画をされましたように、平成 29 年度の開催をするにあたって、より多くの市民が参加出来る市民文化祭の開催を目指して検討いただきますようお願いいたします。

それでは、②平成 29 年度事業計画（案）についてを、事務局より説明をお願いいたします。

事務局： はい、平成 29 年度事業計画（案）についてご説明させていただきます。お手元の資料の 5 頁をご覧ください。平成 29 年度事業計画（案）について、区分・事業名・事業内容の順に説明させていただきます。

まずは、貸館業務につきまして、公共施設へのご案内やパンフレットの配架、また市のウェブサイトの活用をいたしまして、より多く市民に周知し、公民館をより多くの市民が学び、集える場所になるよう努めて参りたいと考えております。

次に公民館講座事業でございます。予算的に、2,762,000 円を計上しておりますが、事業内容といたしましては、自己の意識や教養を高め、豊かにするために、地域の大学等と連携を密に図り市民の意向を反映した立案をいたしまして、学習の機会を提供し、参加できる場、学習の場、交わりの場として、講座づくりに努めて参りたいと考えております。

また、本年度も講座の一部であります、公民館講座、春期・秋期を、地元の文化に熟知した有能な講師が所属する柏原市文化連盟に委託して、春期・秋期の 2 回、各講座とも 12 回の開催を予定しております。29 年度に関しまして、春期に新しく民謡講座を企画いたしまして、春期に 5 講座、秋期に 5 講座の 10 講座を計画しております。教養基礎講座といたしまして、大阪教育大学の教授の先生方を中心として教養講座、英会話、フランス語などの語学講座、趣味などの短期講座としまして、囲碁、きもの着付、パソコンなどの講座を計画しております。

次に、市民文化祭事業といたしまして、2,831,000 円を予算計上しております。第 30 回柏原市民文化祭として、展示部門を文化センターで、舞台部門を昨年と同様に公共施設を利用して、リビエールホールにて行い、多種多様な催し物として、例年と同じ 10 月に市民参加型の文化祭の開催に努めて参ります。

なお、文化祭の式典は 10 月 8 日（日）にリビエールホールで実施予定としております。以上でございます。よろしくお願いいいたします。

議長：ありがとうございます。只今、事務局から説明のありました、平成 29 年度事業計画（案）についてご質問のある方はお願いいたします。ごさいませんようですので、それでは案件③その他について、事務局より説明をお願いします。

事務局：最後に、その他で報告となりますが、公民館における施設整備につきまして、「修繕などは計画的にされていますか？」、と、以前に委員さんから質問を頂いたと思いますので、それを踏まえまして説明をさせていただきます。

それでは、6 頁の資料をご覧ください。公民館の施設整備事業につきましては、平成 21 年度から本年度までの実績、及び 29 年度の予算案の事業一覧表を作成いたしましたので、ご説明申し上げます。

まず 21 年度からでございますが、ガス管の改修工事を行いました。こちらは、文化センターに埋設されましたガス管が経年劣化で腐食しておりましたので、取り替えたものであります。決算額は、1,754,550 円で国の地域活性化経済危機対策臨時交付金を活用させていただきました。続きまして平成 22 年度は、吸収式冷温水器整備工事ということで、文化センターの冷暖房空調設備が老朽化しましたので、冷却ファン・ポンプの取り替えを行いました。決算額は、10,581,900 円でこちらも国の地域活性化きめ細やかな臨時交付金を活用させていただきました。次に、市民文化センター電波障害対策共同受信設備デジタル化工事ということで、デジタル放送への移行にあたりまして、こちら文化センターの共同アンテナの混合機、ブースターの取り替えを行いました。決算額は 329,700 円でした。平成 23 年度は、図書館学習室改修工事ということで、2 階にあった学習室を 1 階に移設しまして、利用者の利便性の向上を図ったものでございます。決算額は 2,772,000 円で、こちらも国の地域活性化住民生活に光を注ぐ交付金を活用させていただきました。平成 25 年度でございますが、キュービクル式高圧受電設備改修工事ということで、経年劣化によります電気事故の防止をおこなうために、コンデンサー等の電気機器の取り替えをおこないました。決算額は、4,924,500 円でこちらも国の地域の元気臨時交付金を活用させていただきました。次に、3 階の雨漏防止用屋上サッシ改修工事ということで、屋上のアルミサッシ、ガラリの取り替えを行いました。決算額は 3,244,500 円でこちらも地域の元気臨時交付金を活用いたしました。平成 26 年度でございますが、市民文化センター改修工事ということで、屋上の防水シートの張替工事、屋上にございます排

煙ドームの取り替え、3階の天井裏にございましたアスベストの除去工事をおこないまして、66,960,000円、このうちアスベスト工事の3分の1を国の社会資本整備総合交付金ということで活用させていただきました。補助金としては1,400万円ほどをいただきました。平成27年度でございしますが、公民館事務所窓口設置工事ということで、2階のガラスブロックを除去しまして、アルミサッシの透明ガラス、受付カウンターを設置いたしまして、利用者の利便の向上を図りました。決算額は、1,652,400円でした。同じく、市民文化センタートイレ改修工事ということで、1階から2階の男女トイレの便器を和式から洋式に4か所改修させていただきました。1,263,600円でした。同じく、市民文化センター及び堅下合同会館非常灯バッテリー改修工事ということで、停電時の非常灯が機能出来るように改修を行いました。決算額は2,430,000円でした。平成28年度でございしますが、市民文化センター高架水槽配管及びタラップ改修工事ということで、老朽化によります、配管およびタラップ、はしごでございしますが、腐食が激しいため、漏水防止等のために改修いたしました。決算額は、874,800円でした。それと、堅下合同会館のエレベータ改修工事ということで、エレベータの運転を制御いたします、装置が経年劣化ということで、誤作動を起こすということがありましたので、取り替え工事を行いました。決算額は、3,024,000円でした。平成29年度の予定でございしますが、市民文化センター正面玄関その他改修工事ということで、正面玄関の天井及び外壁、鉄柱等が老朽化で一部剥がれたり、亀裂が入ったりしているため、改修をおこなうもので、3,013,000円を現在計上しているところでございますが、当初骨格予算でございますので、新市長による理事者査定を待っており、通りましたら、6月に補正予算として計上をする予定でございます。それと、国分合同会館備品購入費でございますが、こちらは当初予算ということで、3階の大会議室の老朽化した机、25脚の取り替えを行います。予算額は、999,000円を計上しております。以上でございます。

事務局：来年度でございしますが、国分合同会館3階の大会議室の机に999,000円の予算を付けていただきました。これらは、本館よりも、ガムテープで張ったりして、剥がれがひどく、また以前に委員さんに椅子のクッションが固く、何時間も座られないということでお話を頂き、机と椅子の両方を予算計上しておりましたが、2つ同時には、認められませんでした。椅子は次の年度以降で引き続き予算計上をしていきたいと思っておりますので、報告をさせていただきます。いままでの整備

事業は、公民館においても、表立って見ていただく箇所は少ないですので、書面でもって見ていただければ、ということで説明をさせていただきました。

議長：ありがとうございました。只今、事務局から説明のありました、③その他について、ご質問がある方はお願いします。

委員：このように、施設整備の予算を取っていただいて、整備をしていただいているということは、とても有難いと思っております。

資料の中で、3階の電気工事が済んでいるとなっておりますが、展示室の立形のエアコンが効いていないように思うのですが、どうですか？

事務局：展示室は、天井からの空調もはいるようにしています。

おそらく、委員におかれましては、立形のエアコンのスイッチのみを入れて使用して頂いた為に室の温度が適切な温度にならなかったと思います。

元からある立形のエアコンと天井からのエアコンを併用して使用頂ければ、室温は適正になると思います。

委員：そうですか、上からの空調なのですね。展示室に設置しているものが機能していないと言われたことがありましたので。

事務局：上から送風が来るようにしているので、寒い時期、暑い時期は、3階はガラス張りで、空調の効きが中々良くなく、夏は暑い、冬は寒いとなります。カーテンを敷き詰めましたら空調の効きは良くなるのですが。それでも、寒い、暑いとなる場合は、本館のメインの空調のタービンを回して、補助の空調も運転させて、寒い、暑いとにならないようにいたします。

委員：ありがとうございます。確かに、国分合同会館の机はガムテープが張ってあり、見栄えが悪かったですね。椅子にも座りにくかったですし。来年度、机だけでも予算がついたのは良かったと思います。

議長：ありがとうございました。全体として、なにかご質問があればお願いいたします。 それでは、無いようですので、これで平成28年度第2回公民館運営審議会の案件の審議を終わらせていただき、議長の職を

解かせていただきたいと思います。どうもありがとうございました。

事務局：その他案件まで、説明をさせていただき、委員のみなさまのご意見をいただくことが出来ました。私ども、新しい年度に向けまして検討をさせていっていただきたいと思います。市民の皆様が利用する場でございますので、委員の皆様には、市民の方々より屈託のない意見がございましたら、事務局までお伝えいただけましたら、と思います。可能な限り、対処をさせていただきたいと思います。

なお、いま出席いただいている、または欠席の方々もおられますが、公民館運営審議会の委員さまの任期は、27年度、28年度ですので、29年度から委員さまを一般公募いたします。図書館ともども、公募をしますので、広報等ご覧いただけたらと思います。

また、それぞれの団体さまから委員として出席を賜っているわけですが、改まって新年度を迎えるにあたり、引き続き委員をお願いさせていただき委員さまもおられるとは思いますが、またよろしくお願ひさせていただけたらと思います。長時間にわたり、いろいろなご意見を賜りました。いろいろと検討をしていきたいと思ひます。本日は、どうもありがとうございました。

最後に副会長より閉会の言葉をいただきます。

副会長の挨拶、終了